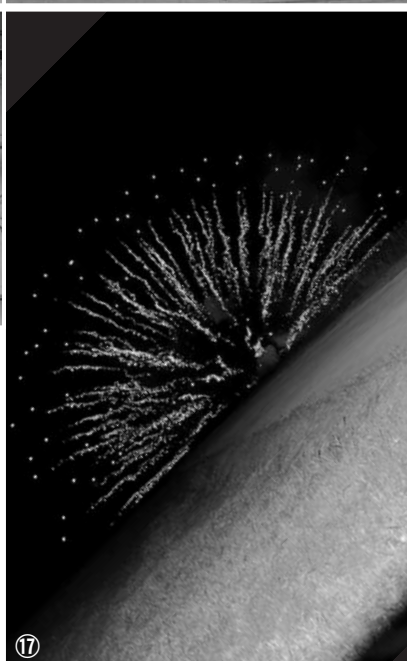


# 第42回かなやま湖太陽と森と湖の祭典

- ①前夜祭での歌手の大友勝二さんやアマチュアバンド14組が出演しました
- ②本祭での「大友勝二」歌謡ショー
- ③幾寅小学校児童による鼓笛隊
- ④「丸太切り大会」
- ⑤子どもランド（フワフワなどの遊具）
- ⑥「石上久美子」歌謡ショー
- ⑦町内女性団体の皆さんによる「湖水音頭」
- ⑧宝探し「一攫千金」
- ⑨星澤幸子と札幌南ふらの会の料理ショー
- ⑩陸上自衛隊音楽隊演奏
- ⑪南富良野高校生の吹奏楽演奏
- ⑫「SHINOBU」ものまねライブショー
- ⑬文化協会による「芸能発表」
- ⑭「バイきんぐ」お笑いライブショー
- ⑮石上久美子も参加した「千里大学生」と「ゆかいな仲間」の合唱団によるコーラス
- ⑯開祭式での地元産「はくちょう米」を使ったもちの配布
- ⑰祭典のフィナーレを飾った「花火大会」



わがまちの一大イベント「第42回かなやま湖太陽と森と湖の祭典」が7月27日と28日の2日間、かなやま湖畔キャンプ場で開催され多彩な催しに観光客らが多数訪れ賑わいをみせました。27日の前夜祭では、第6回ロック・フェスティバル「かなやま湖・ミュージック・ウェイブ」が開催され、本町をはじめ道内で活動するアマチュアバンド14組と歌手の大友勝二さんが出演し、熱いステージが繰り広げられました。28日に行われた「かなやま湖水まつり」は今年で42回を迎え、大乗会の皆さんによるみこし隊が、オープニングを飾り、恒例の餅まきの後、



「南ふらのマルシェ（特産品の販売など）」やフワフワ遊具などの「子どもランド」が登場、来場者は約1万5千人を数え、夏の一大イベントを楽しみました。夕方からは、中村明大友勝二歌謡ショーそしてバイきんぐお笑いライブショー、本町出身の演歌歌手石上久美子の歌謡ショーなどが繰り広げられ来場者を魅了しました。フィナーレを飾る花火大会では、「700メートルのナイアガラの滝」や約2000発の色とりどりの花火が夏の夜空を華やかに彩りました。

ステージ上で、幾寅小学校児童による鼓笛、南富良野中学校吹奏楽部、南富良野高等学校吹奏楽部や陸上自衛隊音楽隊（札幌・北部方面隊）による演奏や幾寅保育所園児による「うさぎいそりゃん」、千里大学生とゆかいな仲間の合唱団による合唱、団体などの各種芸能発表、子どもたちに大人気の「仮面ライダーウィザード」ショー、湖畔では「宝探し」、カヌー体験試乗会、ウィンドサーフィン大会が行われたほか、「金山ダム見学会」も行われ、訪れた皆さんは、盛りだくさんの催しを楽しみました。また星澤幸子と札幌南ふらの会料理ショーを始め、